

## 1. 特集

月一頁

## &lt;外国弁理士&gt;

1. 日本と米国における“PRO-PATENT”政策  
ロナルド・J・クボチェック 翻訳 田中慶子 1-6
2. 日本企業がヨーロッパで特許出願をする際に検討すべき事項  
クラウス ヒンケルマン 1-12
3. 企業内特許技術者による特許戦略への貢献  
クラウスヒンケルマン 1-18
4. 中国における商標と商号との衝突 譚 衛東 1-21
5. 中国特許出願時の若干留意事項 龍 淳 1-24
6. 韓国出願に際し注意すべき事項 金 成完 1-31

## &lt;九州&gt;

- 九州特集に際して 松尾憲一郎 2-2
1. 座談会 九州の知財の現状  
小塩 眞・武田一彦・松家 繁・鎌水恭史・松尾憲一郎・  
丸山温道・石橋良規・正林真之・小野 曜 2-3
  2. 九州は今 熊谷健一 2-18
  3. APAA (アジア弁理士協会) 2004年福岡理事会について  
清水徹男・吉田研二 2-20

## &lt;特定侵害訴訟代理業務に関する能力担保研修及び効果確認試験&gt;

1. 特定侵害訴訟代理業務試験に関するQ&A  
日本弁理士会研修所 3-2
2. 特定侵害訴訟代理業務に関する能力担保研修の講義所感と次年度受講生に望むこと  
牧野利秋・毛利峰子・平野和宏・  
岩谷敏昭・小南明也 3-9
3. 能力担保研修の受講について 中里浩一・内山美奈子・  
吉井 剛・三原秀子・岩倉民芳・森 寿夫 3-21

## &lt;平成15年改正法および関連事項について&gt;

1. ユーザからみた新無効審判制度 -実務上の留意点を中心に-  
河宮 治 4-3
2. 「明細書及び特許請求の範囲の記載要件」の審査基準改訂について  
涌井謙一 4-13
3. 補正に関する審査基準(新規事項)運用の緩和 松下 正 4-18
4. 特許法第37条の規定様式の国際調和について 加藤慎治 4-25

## &lt;第11回知的財産権誌上研究発表会 研究発表の部&gt;

- 第11回知的財産権誌上研究発表会開催に当たって 丸山温道 5-3
1. 知的財産関係事件に関する裁判制度 岡田洋一 5-4
  2. 職務発明制度改正法案を考える 帖佐 隆 5-11
  3. コンテンツの権利管理システムに想定される権利とその相関関係  
児玉晴男 5-17
  4. 実効ある特許権のために 丸山光信 5-27
  5. ブランドとしてのパブリシティの権利と価値 吉川宏延 5-35

## &lt;実務系委員会の活動報告&gt;

1. 再考「阪神優勝」 平成15年度商標委員会 6-13
2. ビジネス関連発明における「発明の成立性」に関する実務的考察  
-特許法第29条第1項柱書違反の拒絶を回避するために-  
平成15年度ソフトウェア委員会 6-19
3. 平成15年著作権重要判決紹介 平成15年度著作権委員会 6-37

4. 特許ハーモに関する国際的議論の帰趨について  
平成15年度国際活動センター 6-47
5. 知的財産支援センターにおける大学支援活動  
平成15年度知的財産支援センター 6-57

## &lt;未来の弁理士像 -ロースクール-&gt;

1. ある弁理士の子連れロースクール留学 龍神嘉彦 7-19
2. アメリカのロースクール3年制課程について 日野真美 7-25

## &lt;第11回知的財産権誌上研究発表会に対する意見&gt;

- 特許法35条の改正と職務発明規程  
-産業構造審議会の報告書及び国会の審議に見る改正の趣旨-  
飯田 隆 8-3

## &lt;これからの弁理士&gt;

- これからの弁理士の進路についての一考察 池内寛幸 8-13

## &lt;関西は今!&gt;

- 特集 関西は今!に寄せて 副会長 吉田 稔  
パテント編集委員会副委員長 佐藤 富徳 9-3
1. 座談会 知的財産権による関西再生の道を探る 9-5
  2. インタビュー バイオサポーターズ三会協議会(関西再生の起爆剤)  
の活動について 9-18

3. インタビュー 中小企業支援の中核である大阪産業創造館にて 9-26
4. インタビュー 日本初の知的財産学部設置(大阪工業大学) 9-35
5. インタビュー 人工衛星の東大阪中小企業を訪ねて 9-44
6. インタビュー 所得伸び率日本一の南部川村役場うめ課を訪ねて 9-53
7. 奈良県の産業界を考える  
奈良県中小企業支援センター 木口朋大 9-59
8. 関西の特色・強みを活かした技術移転事業の新展開にむけて  
関西TLO(株) 鈴木大地 9-64
9. 正副会長と近畿支部の語る会 9-68

## &lt;実用新案制度の改正&gt;

1. 実用新案制度の改正について  
特許庁特許審査第四部審査官 中野裕二 10-3
2. 改正実用新案法の実務 特許委員会委員長 樺澤 聡 10-10
3. 改正実用新案制度について思う 鈴木正次 10-14
4. 改正実用新案制度について思う 山本晃司 10-22

## &lt;地方公共団体の知財への取り組み&gt;

1. 北海道における知的創造サイクルの確立に向けて 11-3
2. 秋田県の知財への取り組み 11-5
3. 茨城県の知的財産への取り組み 11-7
4. 栃木県の知的財産施策の取組について 11-10
5. 群馬県の知財への取り組み 11-12
6. 埼玉県における知的財産への取り組み 11-14
7. 東京都の知財への取り組み 11-17
8. 福井県における知的財産への取り組み 11-20
9. 愛知県の知的財産戦略について 11-23
10. 滋賀県の知財への取り組み 11-25
11. 京都府の産業振興への取り組み 11-27
12. 大阪府の知的財産戦略 11-28
13. 兵庫県における「知の創造と活用」 11-30
14. 奈良県の知財への取り組み 11-33

15. 鳥取県の知財への取り組み	11-36	95. 座敷童子(その2)	3-71
16. 鳥根県における知的財産への取り組み	11-38	96. 大阪城と江戸城の石垣	4-49
17. 高知県の知的財産への取り組み	11-40	97. 鬼子母神の心	5-72
18. 佐賀県での知的財産を活用した地域振興の取組について	11-42	98. 悲喜こもごも	7-36
19. 大分県の知財への取り組み	11-44	99. 空梅雨	8-66
<b>&lt;ベンチャー支援&gt;</b>		100. 座敷わらし(その3)	9-52
TLOにおけるベンチャー支援	古川浩平 12-12	101. 一見似ていて非なるものの大きな違い	10-21
新規事業と特許制度	竹田逸郎 12-17	102. 携帯電話にお世話になっていますか?	12-67
<b>&lt;判決要約&gt;</b>		<b>&lt;知恵の話&gt;</b>	
1-86, 2-84, 3-81, 4-78, 5-92, 6-92, 7-85, 8-98, 9-109, 10-83, 11-92, 12-86		2. 固体高分子型燃料電池製作記	田中隆裕・田中宏和・田中成志 2-62
判決要約目録(2003年掲載分)	3-83	3. 紳士録商法にご用心	鼎 博之 3-76
<b>2. 今月のことば</b>		4. ある商標登録手続	鼎 博之 4-58
運営が難しくなった常議員会	松田治躬 2-1	5. 三味線の話	若林 擴 5-42
特定侵害訴訟代理業務のための能力担保研修及び効果確認試験について	村木清司 3-1	6. 新内節について	若林 擴 8-50
何が変わったのか 知財改革の中での弁理士	佐藤辰彦 5-1	<b>6. 私の目指す弁理士像</b>	
知財改革の主人公になりましょう	丸島儀一 6-1	77. 吉田伊知朗 2-80	78. 松田初夏子 4-39
これからの弁理士業界の環境変化について	福田賢三 8-1	79. 永井 隆 5-60	80. 松田真砂美 6-64
ダブルメジャーは将来型弁理士像!	吉田芳春 9-1	81. 岩田 敏 7-58	82. 高林芳孝 8-30
知財立国の実現 - 国産技術の国際標準化の重要性 -	丸島儀一 10-1	83. 齋藤 康 9-58	84. 岡田隆三 10-61
秋葉原クロスフィールドについて	吉田 稔 11-1	85. 小林智彦 11-70	86. 福島 宏 12-39
弁理士法改正に関する動向	井上 一 12-1	<b>7. 叙勲・褒章受章者</b>	
<b>3. 正副会長の活動状況</b>		平成16年春の叙勲・褒章受章者	6-3
「産業構造審議会知的財産政策部会」の新たな動きパートII		叙勲者の横顔	山川政樹・上原洋允・吉原省三・鶴沼辰之・大塚文昭・林 鉦三・樋口榮四郎・野田明正・大多和明敏 6-3
石田喜樹 1-45		褒章受章者の横顔	笹島富二雄・飯田昭夫・井上義雄・久保 司・須山佐一・辻 實・中島 淳・波多野久・増田竹夫 6-7
いわずの付記弁理士の誕生	五十嵐和壽 2-24	平成16年秋の叙勲・褒章受章者	12-3
日本弁理士会の広報活動	峯 唯夫 3-46	叙勲者の横顔	若林 擴・長谷照一・中川周吉・飯塚文夫・豊福正弘・富田健三・高見和明 12-3
日本弁理士会の広報活動	吉田芳春 5-26	褒章受章者の横顔	守谷一雄・中野収二・中島三千雄・井出直孝・西 孝雄・樋口豊治・浅野勝美・後藤憲秋・稲葉良幸 12-7
知的財産制度の一層の普及を目指して	杉本ゆみ子 6-56	<b>8. 論 考</b>	
総会を終え、いよいよ本格的な会務活動へ	吉田 稔 7-44	意匠の類似構造(3)	田中 大 1-65
出でよフロントランナー弁理士	井上 一 8-12	意匠法施行規則第6条に関する改正私案	一意匠法における記載要件及び権利範囲の解釈の明確化を目指して - 上田育弘 1-78
知財改革の中での正副会長会の今後の取り組み	佐藤辰彦 9-17	コモンローとローマ法 - 出願中の不衡平行為について -	鈴木弘之 1-82
正副会長会で審議されていること	杉本ゆみ子 10-35	購入後の混同のおそれと商標権侵害(インクボトル事件)	- 東京地裁平成14(ワ)第4835号 平成15. 1. 21商標権侵害差止等請求事件 - 倉内義朗 4-43
東京における日本弁理士会第2の拠点に御理解を	浅賀一樹 11-46	米国判例にみるコンピュータ関連発明の機能的記載における諸問題とその有効的活用	河野英仁 4-50
弁理士会が実施する事業について	福田賢三 12-50	特許権制度の存在理由と職務発明制度 - 特許法35条批判(1)(2)(3)	永野周志 4-59, 5-43, 6-65
<b>4. インタビュー・座談会</b>		<b>&lt;会員インタビュー&gt;</b>	
<b>&lt;会員インタビュー&gt;</b>		15. 理想に向かってプラス思考で常にチャレンジ	
<b>&lt;インタビュー企画&gt;</b>		廣田浩一 4-35	
木下實三会長インタビュー		<b>&lt;座談会&gt;</b>	
「弁理士」としての横顔と日本弁理士会のこれから		1. 座談会 知的財産権による関西再生の道を探る	
木下實三 7-1		9-5	
田芳春副会長インタビュー		<b>5. ティー・ブレイク</b>	
弁理士全会員による広報センター化を期する		93. 最近の弁理士試験事情	
吉田芳春 7-12		1-36	
<b>&lt;座談会&gt;</b>		94. 座敷童子	
1. 座談会 知的財産権による関西再生の道を探る		2-74	
<b>5. ティー・ブレイク</b>			
93. 最近の弁理士試験事情		1-36	
94. 座敷童子		2-74	

特許権の本質は実施権と専権の両立	
ー東京地裁の「フック装置」判決、「生体高分子」判決、「青色発光ダイオード」判決を中心としてー	田辺 徹 6-76
特許侵害訴訟における権利濫用の抗弁	
ー進歩性との関係における明白性要件についてー	山本雅久 8-67
審決取消訴訟の主要判決(1)(2)	高瀬 彌平 10-62, 11-71
クレーム解釈手法の原理的考察(1)	
ー有効性と侵害の判断フォーラムの統一の下でー	加藤 朝道 12-52

## 9. 解説

技術関連契約において必要とされる基本知識, ノウハウ	渡辺秀治 2-25
商標使用許諾契約のドラフティング	浅井敏雄 2-37
著作物性について	小西 恵 2-57
米国クレームのプリアンプルの解釈について	青木 修 3-41
補正(新規事項)の改訂審査基準の参考判決の概要	高瀬彌平 3-47
商標とブランドーこの頃の状況 ブランドシリーズ(3)	照嶋美智子 3-72
日本弁理士会の組織と役員制度についての提言	小谷悦司 3-77
明細書再考ーその3	
ー均等論が適用された「生海苔の異物分離除去装置事件」から学ぶー	保科敏夫 4-29
特許英語通信文と英文明細書作成へのガイド(11)	
ーリンキングクレームと, その作成ー	藤芳寛治 4-40
特許法第36条第6項第1号の記載要件に関する一考察	梶崎弘一 5-61
特許権侵害訴訟判決ガイド(7)	高瀬彌平 5-73
常識はずれの特許改革ー2つの試案	山崎 薫 5-86
外国法事務弁護士制度の改革について	
ー弁護士と外国法事務弁護士等との提携・協働の推進ー	平瀬知明 7-37
特許英語通信文と英文明細書作成へのガイド(12)	
ー米国型英文クレームの作成ー	藤芳寛治 7-62
知的財産に関する訴訟の改革について	
ー知的財産高等裁判所設置法及び裁判所法等の一部を改正する法律についてー	坂口智康・小田真治 8-21
課題の相違が動機づけの阻害要因となるか否かに関する審決取消訴訟判決例	高瀬彌平 8-82
米国におけるクレームの文言解釈の傾向と分析	今泉俊克 9-78
知っておきたいソフトウェア特許関連判決(その1)	
ーソフトウェア間接侵害認容事件(安定複合体構造の探索方法の特許権侵害)ー	ソフトウェア委員会・市原政喜 10-28
判例有効活用シリーズ1 「製法限定発明の限界とその回避策」	
ーH16. 3. 25大阪地裁 平成12(ワ)5238からー	仲 晃一 10-31
判例有効活用シリーズ2 「必須成分以外の成分の許容範囲」	
ーH16. 2. 25東京地裁平成14(ワ)16268からー	仲 晃一 11-87
特許・実用新案権民事仮処分における「保全の必要性」	中村彰吾 10-37
プログラムにおける特許法と著作権法の抵触権利調整について	加藤浩一郎 10-54
特許法第104条の3の解釈論	
ー最高裁平成12年4月11日判決(民集54巻4号1368頁)に因んで(3)ー	村林隆一 11-48
発明の源泉と技術課題ー技術課題をより良く把握するためにー	野中克彦 11-52

商標法38条1項2項の適用要件及び複数侵害者間の損害賠償請求権の関係	ーメープルシロップ事件の判例評釈ー	中田朋子 11-62
------------------------------------	-------------------	------------

## 10. 紹介

中央知的財産研究所の概要	小池 晃 7-56
特定非営利活動法人日本知的財産翻訳協会について	吉田維夫 10-80

## 11. 提言

知的財産専門家としての弁理士育成について	
ー知的財産推進計画の策定に際してー	中島 淳 1-37
平成15年度弁理士試験本試験問題とその傾向	正林真之 1-47
職務発明制度のあり方について	本庄武男 2-65
知財の価値評価機関設立について	
知的財産価値評価機関設立検討委員会	2-75
拒絶査定に触れて	山崎 薫 2-81
弁理士と広報ーブランドの視点からの観察	ブランドシリーズ(4)
	照嶋美智子 7-59
中国特許局「審査指針」の「進歩性」の判断標準に関する改正と特許出願の実体審査過程に於いての「進歩性」主張	劉 立平 8-57
韓国における特許訂正制度の活用	李 来鎬 9-84
オープン・ソース・ソフトウェアと著作権	
ー不特定多数の創作者という問題ー	井上 正 9-96

## 12. 報告

中国における商標制度概観, 判例紹介, 類否判断	
	平成15年度国際活動センター 7-46
小学生に対する弁理士による知的財産授業について	羽鳥 亘・朝日直子 8-51
中国における商標制度概観, 判例紹介, 類否判断	
	平成15年度国際活動センター産業競争力部会第4部会 10-78
米国特許出願手続きにおけるIDSについて	平成16年度国際活動センター 12-24
電子紙芝居を使用した中学生向け知的財産授業について	羽鳥 亘・朝日直子・貝塚亮平 12-32

## 13. 考察

昭和34年(1959年)日本産業財産権法制の特許法・実用新案法間の基本的枠組における出願構造の実態に関する研究(要約)(1)(2)	
ー出願大手企業の特許・実用新案の出願件数の統計的解析を中心にー	上田育弘 3-63(5-94), 4-72(5-94)
中国における意匠の類否判断, 保護範囲の考察	国際活動センター 8-31
青色発光ダイオード特許事件の一考察	望月夜郎 8-41
職務発明の法理と構造ー改正法施行を控えてー	山尾昭一郎 12-40
機能性著作物に関する一考察	高橋 淳 12-80

## 14. コラム・その他

<弁理士と〇〇>	
4 弁理士とMOT	鷹取政信 10-77
5 弁理士と英語ーその3	照嶋美智子 12-76

<b>15. 挨拶</b>		
年頭所感	会長 下坂スミ子	1-2
年頭所感	特許庁長官 今井康夫	1-4
就任のご挨拶	—内部の充実と外部への機動的対応を!—	
	会長 木下實三	4-1
平成16年度正副会長会		4-2
就任のご挨拶	特許庁長官 小川 洋	7-18

<b>16. お知らせ</b>		
<b>&lt;書籍紹介&gt;</b>		
『商標教室（基礎篇・判例研究篇Ⅰ・Ⅱ）』小谷 武 著		
	山田武史	3-80
『知的財産権と損害賠償』田村善之 著	佐藤富徳	4-28
『市場・自由・知的財産権』田村善之 著	中野圭二	5-34
『仕事が不満な貴方へ』照嶋美智子 著		8-49
『平成特許法改正ハンドブック』尾崎秀男・江藤聰明 編		10-60
『知的財産法の基礎理論』布井要太郎 著		11-26
受講無料 土曜パテントセミナー		1-表2
巻頭写真		1-1
東京税理士会が税理士記念日フェアを開催		1-35
PCT規則改正Q&A集（訂正）		1-88
「国際経済内の商標登録簿への登録」と称する勧誘にご注意		1-106

日本知的財産仲裁センター第6回シンポジウム		2-表2
第2回タウンミーティング「知的財産セミナー in福岡」の開催報告		2-79
新パンフレットの完成について		2-表3, 3-表3, 4-表3
平成15年度特定侵害訴訟代理業務試験の結果について		3-表2
研修所レポート		3-39
第二東京弁護士会と相互研修を中心とした協定を締結		4-表2
全国一斉無料特許相談会開催		5-表2
お詫びと訂正		5-94, 7-88, 8-100
「弁理士の日」記念事業（概要）について		5-表3
日本知的財産仲裁センターシンポジウム		6-表2
「弁理士の日」記念事業開催のお知らせ		6-112
ITベンチャー 知的財産戦略セミナーのご案内		7-表2
第10回 東京の10土業 暮らしと事業のよろず相談会		8-表2
休日パテントセミナー 2004 in名古屋		9-表2
第10回 暮らしと事業のよろず（無料）相談会		9-25
外国特許出願費用を助成します！		10-表2
判例有効活用シリーズに寄せて		10-30
ライフサイエンス分野における知的財産の「目利き」を養成する		11-表2, 85
受講無料 土曜パテントセミナー		12-表2
平成16年度弁理士試験合格発表		12-79

**2004年 パ テ ント Vol.57, No.1 ~ 12 著者編者名索引**

<b>ア 行</b> 月一頁	
青木 修	3-41
浅井敏雄	2-37
浅賀一樹	11-46
浅野勝美	12-10
朝日直子	8-51, 12-32
飯塚文夫	12-4
飯田昭夫	6-8・57
飯田 隆	8-3
五十嵐和壽	2-24
池内寛幸	8-13
石田喜樹	1-45
石橋良規	2-3
和泉順一	2-86, 6-94
市原政喜	10-28
井出直孝	12-8
伊藤高英	3-39
伊藤文彦	1-87, 7-85
井上 正	9-96
井上 一	8-12, 12-1
井上義雄	6-9
稲葉良幸	12-11
今井康夫	1-4
今泉俊克	9-78
岩倉民芳	3-33
岩田 敏	7-58

岩谷敏昭	3-15
上田育弘	1-78, 3-63, 4-72
上羽秀敏	6-19
上原洋允	6-3
打揚洋次	3-39
内山美奈子	3-24
鶴沼辰之	6-4
江藤聰明	10-60
大関光弘	6-19
太田明男	7-87
大多和明敏	6-6
大塚文昭	6-5
岡田淳平	4-78, 8-100
岡田洋一	5-4
岡田隆三	10-61
岡戸昭佳	6-37, 8-99
小川 洋	7-18
奥田 誠	1-87, 5-92
小田真治	8-21
尾崎秀男	10-60
小野 曜	2-3
<b>カ 行</b>	
貝塚亮平	12-32
梶崎弘一	5-61
加藤朝道	12-52
加藤浩一郎	10-54

加藤慎治	4-25
加藤恒久	2-85, 3-81, 5-93
加藤 誠	4-79, 7-85・87
金井英幸	6-37
鼎 博之	3-76, 4-58
樺澤 聡	10-10
川島利和	8-98
河宮 治	4-3
木口朋大	9-59
木下實三	4-1, 7-1
木村高明	6-47
久保 司	6-9
熊谷健一	2-18
倉内義朗	4-43
小池 晃	7-56
河野英仁	4-50
小塩 眞	2-3
古関 宏	6-13
小谷悦司	3-77
児玉晴男	5-17
小西 恵	2-57, 6-47
小西富雅	1-86, 3-81, 6-93
小林智彦	11-70
小南明也	3-18
後藤憲秋	12-11

<b>サ 行</b>	
齋藤 康	9-58
坂口智康	8-21
笹島富二雄	6-7
佐藤辰彦	5-1, 9-17
佐藤富徳	4-28, 9-3
清水徹男	2-20
下坂スミ子	1-2
下田 昭	2-84
正林真之	1-59, 2-3
信太明夫	4-80, 5-93, 8-98
杉本ゆみ子	6-56, 10-35
鈴木大地	9-64
鈴木弘之	1-82
鈴木正次	10-14
須山佐一	6-10
<b>タ 行</b>	
高瀬彌平	3-47, 5-73, 8-82, 10-62, 11-71
鷹取政信	10-77
高橋 淳	12-80
高林芳孝	8-30
高見和明	6-47, 12-6
竹田逸郎	12-17
武田一彦	2-3
田中慶子	1-6

田中成志	2-62
田中 大	1-65
田中隆裕	2-62
田中宏和	2-62
田辺 徹	6-76
中馬典嗣	1-86, 2-85, 6-93
帖佐 隆	5-11
辻 實	6-10
照嶋美智子	3-72, 7-59, 8-49, 12-76
土井稔清	7-86
富田健三	12-5
豊福正弘	12-5
<b>ナ 行</b>	
仲 晃一	10-31, 11-87
永井 隆	5-60
永岡重幸	6-47
中川周吉	12-4
中川裕幸	6-37
中里浩一	3-21
中島 淳	1-37, 6-11
中島三千雄	12-8
中田朋子	11-62
中野圭二	5-34
中野収二	12-7
永野周志	4-59, 5-43, 6-65
中野裕二	10-3
中村彰吾	10-37
西 孝雄	12-9
根本 宏	11-26

野田明正	6-6
野中克彦	11-52
野中誠一	6-92, 8-99

### ハ 行

長谷照一	12-3
波多野久	6-11
羽鳥 亘	8-51, 12-32
林 銘三	6-5
速水進治	6-19
樋口榮四郎	6-6
樋口豊治	12-9
日野真美	7-25
平瀬知明	7-37
平野和宏	3-12
廣田浩一	4-35
福島 宏	12-39
福田賢三	8-1, 12-50
藤村元彦	6-47
藤芳寛治	4-40, 7-62
古川浩平	12-12
保科敏夫	4-29
本庄武男	2-65

### マ 行

前田和男	7-88
前田 均	3-82
牧野利秋	3-9
増田竹夫	6-12
松井宏記	2-84, 6-92, 7-86
松尾憲一郎	2-2・3・79
松家 繁	2-3

松下 正	4-18
松田初夏子	4-39
松田治躬	2-1
松田真砂美	6-64
丸島義一	6-1, 10-1
丸山温道	1-1, 2-3, 5-3
丸山光信	5-27
三原秀子	3-30
峯 唯夫	3-46
村木清司	3-1・2
村林隆一	11-48
毛利峰子	3-9
望月孜郎	8-41
森 寿夫	3-36
守谷一雄	12-7

### ヤ・ラ・ワ行

山尾昭一郎	12-40
山内康伸	4-78・79, 5-92
山川政樹	6-3
山口栄一	3-82, 5-94
山崎 薫	2-81, 5-86
山田武史	3-80
山本晃司	10-22
山本雅久	8-67
鍾水蒸史	2-3
吉井 剛	3-27
吉川宏延	5-35
吉田伊知朗	2-80
吉田研二	2-20
吉田維夫	10-80

吉田 稔	7-44, 9-3, 11-1
吉田芳春	5-26, 7-12, 9-1
吉原省三	6-4
龍神嘉彦	7-19
若林 擴	5-42, 8-50, 12-3
涌井謙一	4-13
渡辺秀治	2-25

### 外国

李 来鎬	9-84
金 成完	1-31
譚 衛東	1-21
劉 立平	8-57
龍 淳	1-24
ロナルド・J・クボチェック	1-6
クラウス・ヒンケルマン	1-12・18

### 委員会・団体

研修所	3-2
国際活動センター	6-47, 7-46, 8-31, 10-78, 12-24
商標委員会	6-13
ソフトウェア委員会	6-19
知的財産価値評価機関設立 検討委員会	2-75
著作権委員会	6-37
パテント編集委員会	7-36, 8-66, 9-52, 10-21
知的財産支援センター	6-57

From Editors

## 編集後記

今月号はベンチャー支援を特集しました。

「ベンチャー支援」を実践することは非常に困難であると思います。がしかし、低迷する日本産業界を元気づけるためには、我々弁理士による「ベンチャー支援」が不可欠なのではないでしょうか？ 今月号が、今後のベンチャー支援の何らかのお役に立てば幸いです。(のり)

ベンチャー支援の特集で、インタビューをさせていただきましたが、現実の大学発ベンチャーの厳しさが、実感できた取材となりました。記事で読者の皆様に伝わればと思います。(M. N)

今回、取材のために山口大学に行ってきました。取材でうかがったお話から、今、大学には、研究や学生の教育だけでなく地域の役に立つことも求められているということがよくわかりました。

しかし、大学が、最高学府というだけではすまなくなっているということには、少なからず驚きました。また、今回の取材で、産学連携を現実のものにするのがいかに大変か、その一端をうかがうことが出来ました。

今回、パテントの取材を快く受けてくださった古川先生に感謝いたします。(R. K)

初めて編集に携わった12月号がやっと完成しました。今回の特集である「ベンチャー支援」は、パテント編集委員会の初会合の時に私が思いつきで提案したものでしたが、実際に『パテント』誌として1冊の雑誌に纏め上げる課程では、多くの方々のご協力を頂きました。この場をお借りして、御礼申し上げます。

私としては、ふるさと山口の情報を全国に向けて発信できたことに満足しております。次回も良い記事が掲載できるよう、努力したいと考えております。(うみ)

### 次号予告【2005年1月号】

特集《大学と弁理士の関わり》

大学における弁理士の関わりについて、知財教育及び技術移転等の観点から考察します。